

授業科目名	人間教育学ゼミナール（基礎）(2100309)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（基礎）(25111)		
時間割担当	山田均		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、自らが深めていきたい専門領域を決め、基礎科目ゼミナールで身につけたアカデミックスキルを駆使し、専門分野の文献や論文によって見識を深めていきます。必要に応じて、実習や地域交流などを行い、主体的に自らの専門性を深めていきます。

本ゼミナールでは、実生活に役立つ「ことばの力」を鍛え合うことが主なねらいです。学習指導要領の眼目である「言語活動の充実」を主軸に、小学校国語教科書の教材研究や指導方法を主軸としつつ、より広範な教育実践や教育課題について、具体的・実践的な学びを深めます。

学習の到達目標

「書くこと」を主軸に、「ことばの力」の獲得を段階的に高めていきます。「ブックレポート」「小論文」等による評価を重視します。各自が設定したテーマに基づき、学校現場と直結する学びの成果を、その質に応じて4年次の「人間教育学ゼミナール(応用)」「卒業論文」等へと結びつけていきます。

授業方法・形式

ゼミ生が興味関心を持ったテーマを、毎回レポート発表し、ディスカッションによってより内容を深化させていきます。学内にとどまらず学校教育現場への参加も積極的に行います。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション(人間教育学ゼミナールの目的・内容・文献検索等について)
- 第2回 テーマの設定(興味・関心のあるテーマに向けて)
- 第3回～第12回 ゼミ生発表 (1)～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第13回～第15回 研究指導 (各学生の問題意識の交流と指導助言)
- 第16回～第25回 ゼミ生発表 (1)～(10)(テーマに基づく学生の発表と討論)
- 第26回～第28回 研究指導 (各学生の問題意識の交流と指導助言)
- 第29回～第30回 研究発表と総括(各学生の研究発表と討論)

成績評価の基準

毎回のレポート発表、「ブックレポート」「小論文」等を総合的に評価します。

準備学習・復習及び授

各自が設定したテーマに基づき、その都度指示します。

履修上のアドバイス及

「言語活動の充実」の推進役として、国語科の重要性はますます大きくなります。小学校国語科の授業のみならず、他教科・他領域の教育実践についても視野を広げ、積極的にアプローチしていただきます。

教材・教科書

その都度指示します。

参考書

その都度指示します。